

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	468 健康づくり推進事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	01 10万市民の健康を維持する	目	01	保健衛生総務費
		細目	244	健康21推進事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	52	健康づくり推進事業
担当部課	コード	130900	担当者 氏名	太田 友美
	名称	健康福祉部 健康推進課	連絡先	22 - 9653 (内線) 2665

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	健康に関心を持つ市民	※対象件数
成果(どうする)	生活習慣病の予防や転倒予防を行い、生活のなかで運動習慣の定着化が図れ、寝たきり予防や医療費削減につながる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市健康づくり推進条例	
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 21 年度	健康21推進事業
H22 事業 内容	それぞれの生活単位の地域に健康づくり推進員(健康の駅長)を配置し、市民が生活習慣を見直し改善することや、健康づくりに取り組むことで、疾病予防に努めることができるようになる。	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
健康の駅長養成講座実施回数	回	回	目標	4	目標	4
			実績	4	実績	4
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
健康の駅長養成講座参加者	人	養成講座を通して、各地域での活動が期待できる	目標	130	目標	130	
			実績	116	実績	91	
			目標		目標		
			実績		実績		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	3,142	2,530	2,415	2,809
	県支出金				
	地方債				
	その他	622	21	15	9
	一般財源	2,520	2,509	2,400	2,800
	事業投入人件費(B)	0.2人	1,440	0.2人	1,440
フルコスト(A)+(B)	4,582	3,970	3,855	4,249	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
効率性	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	
	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	事業実績の活動指標は目標を達成している。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	改善策	年度内に市内で開催されるイベントにおいて活動をPRできる場を決定する。
昨年度の取組状況	【状況】	計画のとおり進んでいる
	【詳細】	上野シティーマラソン開催時に健康の駅長主催の健康測定会を開催し、日ごろの健康の駅長の活動を広報した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	入本 理	
事業の方向性	【方向性】	現状維持
	【理由】	健康づくりを継続的・計画的に推進し、「健康都市宣言」の実現を図るために事業を実施することが求められている。
現時点における課題、その他	「健康の駅長」の活動を多くの市民にPRする場を多くする必要がある。	
課題、その他に対する改善策	年度内に市内で開催されるイベントにおいて活動をPRできる場を決定する。また、地域活動事例報告会や健康の駅長連絡会で、地域活動事例集や活動マニュアル(事業実施マニュアル)等を作成する。	
(いつまでに、何を、どうする)		